

モデル地域における海域の物質循環健全化計画の経緯

年度	概要			
21	<ul style="list-style-type: none"> ・海域の物質循環健全化のモデル地域の公募を行い、10地域(8団体)から応募 ・「生態系の安定性」、「物質循環の円滑さ」の観点から、応募海域のグループ分けを行い、気仙沼湾、播磨灘北東部及び三河湾をモデル地域として選定 			
22	気仙沼湾	播磨灘北東部	三河湾	
	<ul style="list-style-type: none"> ・秋～冬の現地調査 ・湾奥の底質悪化、船舶排水の影響等の状況を把握 ・震災により検討休止 	<ul style="list-style-type: none"> ・夏～冬の現地調査 ・湾奥は富栄養、沖合いは貧栄養との状況を把握 	<ul style="list-style-type: none"> ・夏～冬の現地調査 ・微小プランクトンの調査実験計画策定 	
23		<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き現地調査 ・下水処理場の窒素管理運転の実証試験 ・地域懇談会の開催 ・物質収支モデルによる方策の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き現地調査 ・微小プランクトン実証試験 ・地域懇談会の開催 ・物質収支モデルによる方策の検討 	三津湾
		<ul style="list-style-type: none"> ・秋～冬の現地調査 ・カキ食害の可能性等を把握 		
24		<ul style="list-style-type: none"> ・物質収支モデルによる方策の検討 ・ヘルシープランの作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養塩濃度と微小プランクトンの増殖の関係性、二枚貝類による摂餌サイズ試験 ・物質収支モデルによる方策の検討 ・ヘルシープランの作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き現地調査 ・藻場の増大、カキ棚下の底質悪化等確認 ・物質収支モデルによる方策の検討